

# 「軽減税率」はまやかし 来年4月からの消費税増税はストップを



## 消費税は不公平税制・1世帯4万円以上の増税

**米原市民報**  
No511 2016年2月14日  
日本共産党米原市議団  
清水隆徳 Tel52-1969  
藤田正雄 Tel55-1128  
太田幸代 Tel54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

自民公明両党は2017年4月から消費税10%への増税と併せて「軽減税率」（複数税率）の導入を決めています。しかしその実態は「軽減」という言葉で軽くなったようなイメージがしますが、すべての家計で、4万円以上の増税となり、また低所得者ほど、負担がふえるという実態はわかりません。このような不公平な税制はきっぱりと中止することを求めたいと思います。

### 逆進性は変わらず

国の家計調査をもとにした試算でも消費税の逆進性は明らかです。年間所得階層別の負担割合は、別表のとおりです。年間200万円以下の世帯の消費税負担割合は、軽減税率で少しは下がりますが、それ以上の所得階層も下がることによって、逆進性が解消されるものではありません。

別表 年間所得階層	200万円以下	750～800万円	1,500万円以上
軽減税率適用後の消費税額(円)	113,577	322,198	536,672
消費税増加額(円)	38,981	76,677	112,799
消費税負担割合	6.88%	4.17%	2.96%
軽減税率が導入されない場合の割合	7.41%	4.42%	3.12%

### 便乗値上げの可能性も

また、消費税の増税で、物価上昇が避けられないというものです。例えば、ペットボトルのお茶で言えば、中身は8%の税率でも、ボトルやラベルの印刷費、自動販売機の電気代、

### 消費税はどのように使われたのか

消費税が導入されてから、30年近くが過ぎました。消費税収入の合計は304兆円となりました。しかしその間法人3税の減収は263兆円となっており、消費税の多くは法人税減税の穴埋めとなっているのが実態です。その間大企業は内部留保をため込み、労働者の賃金等には回っていないのが実態です。

また政府は「社会保障」のためと言いつつ、社会福祉の切り捨てや空前の軍拡予算ととなっているのが実態です。次の表は、2015年度の社会保障の削減項目です。

介護報酬引き下げ	1130億円
介護使用料2割負担	123億円
介護施設食費部屋代引上げ	100億円
協会けんぽ国庫負担引下げ	460億円
70歳・71歳医療費負担2倍化	465億円
年金特例水準解消	500億円
年金マクロスライド発動	800億円
生活保護費削減	260億円
生活保護住宅扶助削減	70億円

**雑感** 毎日、プロ野球の清原選手の覚せい剤使用のニュースでテレビは報道しています。それ以前はベッキー問題。次からつぎです。その合間に、甘利大臣の口利き疑惑がどこかへ行ってしまっています。典型的な口利きで、これで捕まらなければ、あっせん利得処罰法によってことになりません。しかし今の時期に清原選手の逮捕って？清原選手のためにも早い逮捕が必要だったのでは。